

# とっとり 市議会 だより

## 12月定例会・第1回臨時会のあらまし

12月定例会を平成27年12月4日から12月21日までの18日間にわたって開催しました。

本定例会では、市長から平成27年度一般会計補正予算など63議案が提出され、主なものとして、ふるさと納税推進事業、各施設の指定管理者の指定についてなどの審議を行い、56議案は全会一致、7議案は賛成多数で原案のとおり可決・同意しました。

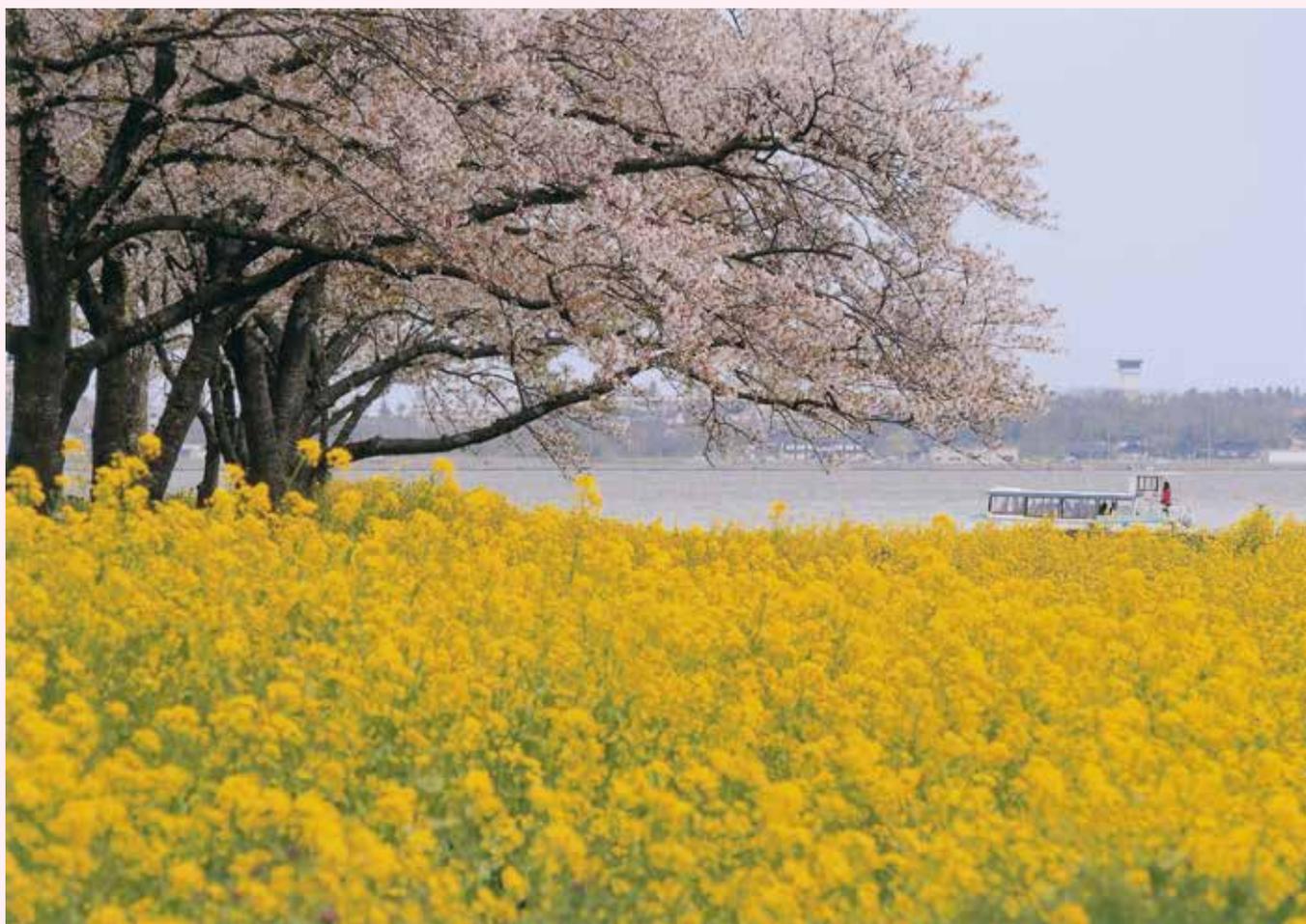
なお、一般質問には29人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

また、1月28日に開催された第1回臨時会で、議会基本条例策定特別委員会が設置されました。

No.172  
平成27年  
**12**月  
定例会号



議会基本条例策定特別委員会が設置されました…………… 12ページ  
議場見学を開催しました…………… 12ページ



青島 春満開

(鳥取市 四季さん 提供)

議会に関するご意見・お問い合わせ

表紙写真を募集しています。詳しくはP12をご覧ください。

鳥取市議会事務局

〒680-8571 鳥取市尚徳町 116 番地 TEL(0857) 20 - 3343 FAX(0857) 20 - 3049  
E-mail:gikai@city.tottori.lg.jp

# 12月定例会 一般質問

12月定例会では、29人の議員が質問を行いました。本誌では、各議員の質問の中から、それぞれ1項目についての質問と答弁の要旨を掲載します。

なお、会議録の全文は、市議会ホームページから閲覧できます。

また、一般質問の動画は、鳥取市議会インターネット放送局でいつでもご覧いただけます。 ※発言順に掲載しています。



## 防災行政無線のデジタル化による影響は

横山 明（会派新生）

**問** 防災行政無線デジタル化の整備計画とそのメリットについて尋ねる。

また、総合支所からは屋外拡声器で時報、戸別受信機で行政・集落情報等を流している。デジタル化になれば、現在のような情報伝達ができず行政サービスの低下となる。現在のサービスが維持できないければ住民は納得できないと思うが、市

長の見解を尋ねる。

**答**（市長） 整備計画は、今年度から中継局の設置も含め、青谷地域から着手し、順次更新していく予定である。

デジタル化によるメリットは、大地震が来た場合など、即時に地震の発生を市民に伝えることができることなどである。行政情報は市報などの積極的な活用、独自チラシの配布により情報提供に努め

る。また防災行政無線を利用し放送していた地域情報は、各機関・団体の広報のあり方、情報の伝達方法について、実態等も踏まえ、

できる限りサービスの低下につながるような方策を研究している。

## 水防法等の一部改正に伴う本市の対策は

太田 縁（無所属）

**問** 近年の大規模水害に対応して、水防法の一部を改正する法律が平成27年5月20日に公布、7月19日に一部施行、11月19日に完全施行された。

本市としては水防計画の見直し等どのような対策を行うこととしているのか尋ねる。

また、鳥取県は、管理する河川について、5年以内に浸水想定区域の変更を行う予定であると聞いている。

本市においては、国・県の浸水想定区域の変更結果を踏まえ、防災マップや水防計画について適切な変更・見直しを行っていきたいと考えている。

## 公共施設・インフラの更新問題について

勝田 鮮一（結）

**問** インフラに関して、本市域の隅々まで網羅されており、なくなれば死活問題にまで発展していく。

現状通り更新すれば年間220億円必要。財政的に困難であるため充当可能財源目標値を124億円として費用を抑制することだが、各部局での取り組み状況について尋ねる。

**答**（農林水産部長） 簡易水道は、平成29年4月の上水道事業との統合に向け、水質、老朽度など優先度の高いものから順次、施設の更新等を進めている。（都市整備部長） 橋梁は、長寿命化修繕計画を策定し、更新費用の抑制と平準化を図って

いる。

市道は、長寿命化修繕計画を今年度策定することとしている。（環境下水道部長）\*下水道アクションプログラムに沿って、処理施設の統合、長寿命化対策の実施等により、維持管理費の節減や更新費用の抑制、平準化に努めたい。

（水道事業管理者） 上水道施設は、管路や施設に独自の基準を設け、長寿命化を図ることとし、今後もコスト削減等を図っていく。\*下水道アクションプログラム下水道事業の管理の適正化と経営の安定化に向けて策定した「鳥取市下水道中期ビジョン」に定めた本市の下水道の将来像を実現するための具体的な計画



### 可燃物処理施設について

金谷 洋治（会派新生）

**問** 河原町国英地区へ新たな可燃物処理施設整備計画が打ち出されて10年近く経過した。八頭環境施設組合と地元との「周辺には設置しない」という以前の協定について認識の違いがあった。徐々に理解が得られつつあるが、地元には賛成・反対のしこりが残っている。しこりやわだかまりのない地域に戻すためにどうするのか市長の考えを尋ねる。

**答**（市長） 可燃物処理施設整備事業を進めていくにあたり、そのことで国英地区において地元のみならずの良好な関係が崩れていくようなことは絶対にあってはいけないと考えている。今後、こういった事業を進めていくことが1つの契機となり、国英地区がさらに活力のある地域となっていくよう本市としても全力で、でき得る限りの支援等を行っていきたくと考えている。



### 18歳選挙権実現に伴う投票率の向上策は

秋山 智博（市民フォーラム）

**問** 選挙権の年齢が実に70年ぶりに改正され、満18歳以上となる。平成28年に行われる参議院議員選挙では投票率向上に向けてどのような対策を考えているのか。また、休日労働者

やJR・バスを利用している高校生・専門学校生の利便性を高めるために、駅や他の商業施設の期日前投票所をさらに増設できないのか尋ねる。

**答**（選挙管理委員長）

大学生への対策として、鳥取大学と鳥取環境大学で期日前投票所を開設。大学以外では、選挙啓発ポスターを高等学校や専門学校校内に掲示、校内放送を活用した選挙一口メモによる啓発活動の中で期日前投票制度を紹介



### 安全な自転車利用について

桑田 達也（公明党）

**問** 自転車専用レーンの設置や電柱の地中化を求め、現状の課題と対策について尋ねる。近年、



投票率向上に向け環境大学で投票の呼びかけを行う選管職員

自転車事故をめぐり高額賠償を命じる判決もあり、市民生活の安心安全推進のため、鳥取市自転車利用安全条例

介し、多くの学生に投票を呼び掛ける。大学以外に期日前投票所の増設は、現在のところ考えてはいないが、将来的にいろいろな状況を勘案しながら検討していきたい。

（仮称）の制定と、自転車保険加入勧奨の必要性について市長の所見を尋ねる。

**答**（市長） 自転車専用

レーンの設置は、道路交通法などにより既存の道路幅での設置が難しい場合が多いが、今後も自転車利用者の動向や市民ニーズ等を踏まえ、道路管理者や警察と連携を図り、必要かつ効果的な対策を検討したい。

また、条例化等については、先進市の事例を調査し、制定等を視野に入れながら研究していきたい。

（企画推進部長） 自転車保険への加入は、万一の備えになると考



### 本市とハーナウ市の姉妹都市交流について

岡田 信俊（会派新生）

**問** 平成元年に開催された「鳥取・世界おもちゃ博覧会」を機に、ハーナウ市（ドイツ連邦共和国）との交流が始まり、平成13年11月に姉妹都市提携を結んだ。その後、行政のみならず、民間や学校など多方面にわたる交流が

行われ、今に至っている。ハーナウ市との姉妹都市交流について、市長の所見を尋ねる。

**答**（市長） ハーナウ市とは、平成13年に姉妹都市締結をし、これまで市民訪問団の派遣やイベントへの相互参加のほか、わらべ館と



地域の信頼関係に溝が  
できたり住民の間で不  
信感や誹謗中傷しあう  
ようなことはあつては  
ならない。地権者集落  
や国英地域が一体とな  
るような協力要請や交  
渉の進め方を念頭に置  
くことが大切であるが  
市長の所見を尋ねる。

ないよう、事業につい  
て理解をいただくよう  
努力を重ねてきた。  
郷原集落にはぜひ施  
設建設の同意をいただ  
き、国英地区が一体と  
なり事業推進に協力を  
いただきたい。

地域全体が一体と  
なっていたくことは  
大変重要なことであ  
り、そのことを念頭に  
置き、さまざまな取り  
組みを進めていきたい  
と考えている。

**答**（市長） 国英地区に  
ある地権者集落6集落  
では山林・原野を共有  
してきた非常に長い歴  
史があり、地元の良好  
な関係が崩れることの

なっていないと考  
えている。



### 本市の観光力の強化について

吉田 博幸（無所属）

**問** 国際観光を推進する  
上での課題と可能性に  
ついて、食を活かした  
観光資源、地域の産業  
と連携した観光資源  
歴史文化に根ざした観  
光資源の磨き上げにど  
のように取り組んでい  
くのか所見を尋ねる。

**答**（市長） 近年大幅に  
増加している外国人観  
光客の来訪が、周辺地  
域の周遊や宿泊などに  
十分につながっておら  
ず、情報発信の強化や  
おもてなしの向上など  
が課題となっている。  
今後、関係団体や県

などと連携し、観光マ  
イスターの養成、外国  
人プログラムの招へい  
による情報発信などの取  
り組みを積極的に進め  
ることにより利便性が  
高まり、外国人観光客  
が増えていくと考え  
る。

なお、鳥取藩の歴史  
や鳥取ゆかりの剣豪な  
どを観光資源として磨  
き上げるとは大変重  
要であると考えている。



### らっきょうの生産振興に向けた本市の取り組みは

前田 伸一（公明党）

**問** らっきょう収穫後の  
作業の人手不足が生産  
農家の最大の課題とな  
っている。

福部砂丘らっきょう  
のブランド力・産地化  
を将来にわたってゆる  
ぎないものとするため  
には、機械化を含め、  
労働力不足解消に向け  
た行政の支援が不可欠

（経済観光部長） 鳥取  
の食は観光資源の柱の  
1つであり、食をテー  
マとした観光ルートの  
創出や周遊促進につな  
げていきたい。

また、貴重な財産で  
ある因州和紙を伝統  
産業の振興と体験メ  
ニューをあわせ持った  
観光資源として活用を  
図っていきたい。

**答**（市長） らっきょう  
の植えつけと収穫時の  
根切りの機械化には関  
心を持っている。鳥取  
大学で開発中のらっ  
きょう調整機は試作段  
階と聞いているが製品  
化の際には産学官の連

携による製品開発や新  
技術の実用化等を支援  
する鳥取市産学官連携  
地域経済活性化事業と  
いった本市の支援メ  
ニュー等も活用してい  
ただきたい。作業量を  
少なくしていくこと  
は、大きな課題であり、  
今後の取り組みを大学  
や県とも話をしていき  
たい。



### 中山間地域の振興に向けて

長坂 則翁（市民フォーラム）

**問** 中山間地域の指定  
は、鳥取県みんまで取  
り組む中山間地域振興  
条例や同条例に基づく  
規則で定められている  
が指定地域に極めて問  
題がある。

例えば稲葉山地区の  
立川町や面影地区の桜  
谷等が中山間地域であ  
り、一方末恒地区の御  
熊・内海中などは中山

間地域となっていない  
状況である。

今後、鳥取県に対し  
て中山間地域の指定見  
直しを働きかけるべき  
と考えるがどうか。

**答**（市長） 鳥取県では  
平成28年度に山間集落  
実態調査を実施し、そ  
の調査結果等を踏ま  
え、平成29年に中山間  
地域の指定地域の見直



手作業で行われるらっきょうの植え付け作業

しを検討していると聞いています。その見直しの際には市町村の意見も聴取することであり、本市としても実態を調査した上で、地域の実情に即したものを検討し、提案したい



### マイナンバー制度への対応方針は

砂田 典男（会派新生）

平成28年1月には、希望者に番号が記載された顔写真つき個人番号カードの交付手続きが始まる。

さらに、税や社会保障制度でマイナンバーの本格的利用が始まる中、本市では市民への対応方針を含め今後どのように対応していくのか、市長の考えを尋ねる。

と考えている。 ※鳥取県みんまで取り組む中山間地域振興条例  
中山間地域の振興に関する基本方針を定め、その実現を図るため県、市町村、県民、特定非営利公益活動法人、事業者等の役割を明らかにし、協働して総合的な施策の推進を図り、豊かで住みよい持続可能な地域社会の実現に資することを目的として、平成20年10月に制定された。

ように、広報等にも取り組んでいきたい。



### 市庁舎整備に関連して

上杉 栄一（会派新生）

問 新本庁舎建設設計の代表企業と市内企業が行った提案内容に、市民の意見や市庁舎整備の5つの方針がどう盛り込まれたか。

また建設予定地の土壌調査で基準値以上のヒ素が検出されたが、処理に要する費用等による建設単価への影響はどうか。

答（市長） 代表企業の提案内容は、市庁舎整備の5つの方針、市民ワークショップや意見募集などでいただいた

問 仙台市では、災害直後の被災者の支援の他に、仮設住宅入居者の個別訪問事業・支援状



### 生活再建支援システムの構築を

石田憲太郎（公明党）

多くの意見を踏まえ、今年7月に新本庁舎の設計の基となる計画内容として取りまとめた「みんなで作るとつとり市庁舎の考え方」を最大限反映していただいたものであると考えている。（庁舎整備局長） 現在、検出された範囲を詳細に調査しているが、工期や単価に極大影響が出ないよう、設計者と調整を図っていきたいと考えている。

況の管理など、生活再建を目的としたシステムを構築している。被災者は生活が再建

できない限り被災者のままであることから、本市も先進地事例を研究しシステムの構築をすべきと考えるがどうか。

答（市長） 被災者の救護・支援のシステムに加え、長期的な生活再建に係る支援システムの導入は重要である。

本市が導入しているシステムは、東日本大震災で被災された自治



### 認知症高齢者の実態とその予防対策について

西村伸一郎（会派新生）

問 我が国の認知症高齢者の人数は10年後には700万人で、高齢者5人に1人の割合と予測され、社会問題化するとされている。本市の認知症高齢者の実態と発症した時の支え合いシステムの状況、

進歩している医療・治療薬処方への診療誘導対策、認知症になりに

体の要望などを反映させてバージョンアップもしている。 本市においては、まず、現在導入している被災者支援システムを確実に活用していくことが基本になると思っており、その他の生活再建支援のシステムについては、さまざまな事例等も参考にしながら今後とも研究していきたいと考えている。

答（市長） 認知症と診断される高齢者は増加傾向にあり、今後も増加していくと見込んでいる。予防対策として地域包括支援センターを中心に、早期対応のための総合的な相談支援、認知症サポーター

養成講座、認知症予防教室などを行っている。また、医療と介護の専門職を組織化し、受診勧奨や鑑別診断への誘導などを行う認知症初期集中支援チームの設置を検討している。

(福祉保健部長) 支え合いの支援施策とし



### 中核市移行に伴うまちづくりの取り組み方針は

寺坂 寛夫 (会派新生)

問平成30年4月、本市は中核市へ移行し、県東部から兵庫県北部を含めた広域圏の中核拠点都市を目指す。そして圏域発展のため、積極的に圏域自治体との取り組み強化を図る必要があるが、第10次鳥取市総合計画に取り組み中で中核市移行に伴う具体的なまちづくりなどのように取り組んでいくのか尋ねる。

答(市長) 中核市移行は、現在策定中の第10次鳥取市総合計画の自立した自治体経営の柱となる取り組みである。本市だけでなく山陰東部圏域全体の発展・飛躍の礎になるものと考え、産学官金労言、あらゆる分野で連携を図りながら、圏域全体の経済成長、高度医療の提供体制の充実、また地域公共交通ネットワークの形成など、高い次元の都市機能

で、認知症高齢者家族やすらぎ支援サービス、徘徊高齢者位置検

索システム利用支援サービスなどを行っている。

※認知症高齢者家族やすらぎ支援サービス  
認知症の在宅高齢者を介護する家族の心身の負担を軽減するため、支援員を派遣し、介護者の代わりに見守りや話し相手を  
行う事業。

能の集積・強化や圏域全体の生活関連機能

サービスの向上に力を  
入れていきたい。



### 公共施設再配置計画の策定に伴う総合支所のあり方について

橋尾 泰博 (結)

問鳥取市公共施設再配置計画の策定にあたり、長期の50年計画を考えると、総合支所の予算・権限、職員配置、行政サービスの向上等の観点から青谷、気高、鹿野3町を統合して西総合支所、河原、用瀬、佐治を南総合支所として、分権分散型行政を進める本庁と2総合支所の3庁体制への移行を図るべきと考えられているか。

答(市長) 新市域の将来像を示した新市域振興ビジョンに示すと

り、総合支所は地域振興や防災、市民サービスの拠点である。新市域の活性化を進めて行く上で大変重要な役割を担っており、現在の支所の機能を維持・向上できる組織体制としていきたいと考えている。ご指摘の50年という大変長期的な観点での総合支所のあり方については、今後、状況を見極めながら時間をかけて、しっかりと検討していく必要があると考えている。



### 介護予防・日常生活支援総合事業について

岩永 安子 (共産党)

問介護予防・日常生活支援総合事業が平成29年4月から実施予定で

ある。現行相当サービスの実施を基本とし、住民主体のサービスも

尊重するべきと考えるが本市での事業展開について尋ねる。また、サービスを提供する介護事業所の実態の把握や意向調査を行うべきだと考えるがどうか。

答(福祉保健部長) 現行の要支援サービスのうち、訪問介護・通所介護サービス提供を行っている事業所に、市の事業として引き続きサービス提供していただけるよう要請していきたい。また生活支援サービス提供事業者等の活動に対し、一定の支援をするなどし、介護サービスの一部を

担っていただく方針としており、地域の福祉関係者の意向を踏まえながら取り組みたいと考えている。

高齢者介護のあり方、サービス提供体制の検討などは事業者の事業展開と歩調を合わせ進める必要があり、意見交換の場の設定などに取り組んでいきたいと考えている。

※介護予防・日常生活支援総合事業  
市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様な生活支援サービスを充実することで、介護予防と地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する支援を行う事業。



### 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律について

平野真理子 (公明党)

問障害者差別解消法が平成28年4月から施行されるが、鳥取駅前の風紋広場に新しく設置されたトイレには視覚障がい者の利用に必要な音声ガイドシステム

が設置されていない。設置が必要であると考えられるが見解を尋ねる。

答(市長) 風紋広場トイレは、鳥取駅周辺の利便性向上を図り、にぎわい創出につなげる

ため今年度整備した。このトイレは、オストメイト対応の多目的トイレや視覚障がい者誘導用ブロックを設置しており、障がいのある方に配慮している。駅周辺を訪れる多くの方が利用されるトイレであることから、誰もが不便なく利用できることが大切であると考えている。視覚障がい者

の利用のための音声ガイドシステムについては、速やかに設置する方向で進めたい。



今年度設置された風紋広場トイレ「さらら」

### 生活困窮者自立支援事業の充実を

椋田 昇一（無所属）



問事業がスタートして

8カ月。相談事業を行っているパーソナルサポートセンターへの相談件数は相当な数に上る。内容も多様で、しかも複合的であり、職員の増員とスキルアップのための研修派遣に一層取り組むべきだと考える。

現在、来年度予算編成の時期であるが人員体制等について市長の

考えを尋ねる。

答（市長）センターでは相談者に対して訪問や窓口での聞き取りを行い解決に向け取り組んでいるが、相談者の対応には時間が必要で相談員1人当たりの受け持つ相談件数もふえている。相談員はスキルアップのため、困窮者の事例検討研修等に

参加し、迅速で適切な解決能力の向上を図つ

ていく必要がある。今後、増加する相談に適正に対応していくため、今以上の人員配置の充実や研修予算の確保に努めていくよう検討したいと考えている。



### 臭気指数の見直しについて

雲坂 衛（会派新生）

問賀露の大規模養鶏場周辺の臭気指数を環境

審議会で決める際、事業所には出向いて、聞き取りを行ったのに対し、住民側には聞き取りもなかったなど、地元住民は経緯に非常に不信感を持っている。今回の臭気指数見直しの際には、住民の意見にも耳を傾け、住民も納得できる臭気調査方法による資料をもつて、審議されたい。

答（市長）臭気基準について、住民のみならずと意見交換等を行いながら問題解決を図つ



鳥取市人権交流プラザ内にあるパーソナルサポートセンター相談室の様子

ていくことは、非常に大切なことであると考えており、臭気指数の基準値について、次の環境審議会で、地元のみなさんのご意見もしっかりと反映したいと考えている（環境下水道部長） 賀露地区臭気対策会議の意見を受け平成28年度には、実際に住民の方におうと言われる場所での測定を行い、そののにおいが具体的な指数ではどのぐらいなのか感じてもらう測定の実施を検討している。

### 子どもの貧困対策について

伊藤 幾子（共産党）



問子どもの貧困対策は見ようとしなければ見えないものであり、全庁的に取り組むべき課題であるが、対策を進めていく上で、体制及び計画づくりが必要と考えるがどうか。また、国の調査では6人に1人の子どもが貧困状態にあるとされているが、本市においても実態調査をすべきだと考えるがどうか。

答（市長）今後、子どもの施策の担当部署による連絡会を立ち上げる予定であり、その中で各部署が現在取り組んでいる子どもの貧困待機児童を出不さないための保育士確保について



足立 考史（無所属）

問安心して子どもを産み、働き続けられる社会を構築するためには、

の保育士配置は途中入園児を想定した配置がされているか。さらに来年度の任期付短時間勤務保育士の採用状況は、採用予定数を大幅に下回っているが、来年度当初の保育士確保は今後どのように考えているか。

**答**（健康・子育て推進局長） 年度当初は、年度内全ての中途入所者を想定した保育士の配置までは行っていないが、中途入所者への対応については、申し込み状況を見ながら随時行っており、受け入れ態勢を整えるための保



保育士の確保で安心して働きつづけることができる社会を



**野生鳥獣の保護管理を積極的に行うべきでは**

下村 佳弘（会派新生）

**問** 国・県はイノシシ、鹿を特定鳥獣として10年で数を半減すると定めた。

自家用菜園や畦畔の崩壊など被害額に含まれていない被害もあ

り、市に対策を求める声は数多くある。しかし捕獲対策は全国他市町村と比較し遅れており積極的に取り組むべきと考えるが市長の認識、今後の対

策について尋ねる。

**答**（市長） 鳥獣対策実施隊設置や侵入防止柵の整備も進めているが被害の減少等の成果があらわれていない状況にあると考えている。現在イノシシの捕獲は集落周辺でのわな猟を中心とする捕獲が行われており、鹿対策は県が今年度から指定管



**公民館力の向上と地域活性化**

吉野 恭介（会派新生）

**問** 社会教育法の枠にとどまらない新しい概念の公民館（コミュニティセンターなど）を中心として、小規模多機能自治組織が全国で

徐々に普及し始めた。地域の新しい連携・協働につながる可能性を持っていると思うが、本市でも探求し鳥取市版の地域コミュニティの構築にチャレンジし、にぎわいづくり

理鳥獣捕獲等事業を実施し、国府、用瀬、佐治地域においても3月末まで捕獲を強力に進めている。この事業の実績や被害状況なども考慮し、鳥獣被害対策実施隊による重点捕獲も検討していきたいと考えている。

を検討されたい。

**答**（企画推進部長） 平成27年2月には協働のまちづくりを進めている自治体で小規模多機能自治推進ネットワーク会議が組織され、本市を含めた181の地方自治体や団体・個人が参画して情報交換を行っている。先進地として、多様な活動を行う地域自主組織が小学校単位で組

織され、活動の拠点である公民館を交流センターに移行し、運営を地域自主組織が指定管理を受け行っている雲南市などがあるが、本市にふさわしい地域コミュニティと協働の形について先進地を参考にしながら調査・研究



**保健所は駅南庁舎の位置で本当によいのか**

米村 京子（結）

**問** 現在、本市は保健所を駅南庁舎へ設置する方向で進めているが市民から疑問、反対の声も聞かれる。

**答**（市長） 保健所の設

を進めている。  
※小規模多機能自治組織  
概ね小学校区などの範囲内に住み、又は活動する個人と、地域型・属性型・目的型などのあらゆる団体等により構成された地域共同体が、地域実情および地域課題に応じて住民の福祉を増進するための取り組みを行う組織。

置場所に関しては、鳥取市保健所設置検討有識者委員会から公共交通機関利用者の利便性、車での来庁者の駐車場の確保、整備する面積の確保、立地する環境などいくつかの提言を受けた。この提言を踏まえ検討を行った結果、駅南庁舎を活用して整備するのが最もすぐれていると結論に達したものである。

賛否状況																							議決結果	
					公明党					結				共産党			市民フォーラム		無所属					
砂田	山田	金谷	下村	房安	上杉	前田	石田憲太郎	平野真理子	桑田	田村	勝田	米村	橋尾	上田	岩永	伊藤	角谷	秋山	長坂	足立	太田	椋田		吉田
典男	延孝	洋治	佳弘	光	栄一	伸一	太郎	理子	達也	繁巳	鮮二	京子	泰博	孝春	安子	幾子	敏男	智博	則翁	考史	縁	昇一	博幸	
○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	原案可決
○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	原案可決
○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	不採択

とまでは考えられないため

市長提出議案	
議案番号	案 件 名
184	鳥取市営駐車場の指定管理者の指定について
185	仁風閣及び宝扇庵の指定管理者の指定について
186	鳥取市歴史博物館の指定管理者の指定について
187	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館の指定管理者の指定について
188	鳥取市あおや郷土館の指定管理者の指定について
189	鳥取市因幡万葉歴史館の指定管理者の指定について
191	鳥取市若葉台スポーツセンターの指定管理者の指定について
192	財産の取得について
193	工事請負契約の締結について
194	工事請負契約の締結について
195	市道の路線の認定について
196	市道の路線の変更について
197	損害賠償の額及び和解について
198	工事請負契約の締結について
199	損害賠償の額及び和解について
200	鳥取市固定資産評価審査委員会委員の選任について
議員提出議案	
17	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書の提出について

**陳情審査結果**

採択となったもの
沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書提出を求める陳情（平成27年陳情第12号）
不採択となったもの
「名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を日本政府に求める意見書」提出を求める陳情（平成27年陳情第11号） （理由）陳情趣旨にある「民意」と陳情事項にはずれがあると考えられ、陳情事項では首長・自治体議会の意見を最大限尊重することはできないと考えるため
「障がい者に係る市町村単独医療費助成事業」の抜本的な改善について（平成27年陳情第13号） （理由）障がい者の医療費負担の軽減は、国が一律に実施すべきものであり、市が単独で制度を拡充していくことは財政的に困難であるため

**平成28年第1回臨時会の審議結果（会期：平成28年1月28日）**

**◆全会一致で可決したもの**

市長提出議案	
議案番号	案 件 名
1	平成27年度鳥取市一般会計補正予算（第6号）
議員提出議案	
議案番号	案 件 名
1	議会基本条例策定特別委員会の設置について

※議決結果の詳細は市議会ホームページでご覧いただけます。

◆ 賛否のわかれたもの

議案番号	案件名	会派新生						
		雲坂 衛	吉野 恭介	星見 健蔵	魚崎 勇	横山 明	西村 紳一郎	岡田 信俊
<b>市長提出議案</b>								
138	平成27年度鳥取市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○
152	鳥取市の行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○
153	鳥取市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○
154	鳥取市税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
158	鳥取市簡易水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
160	鳥取市空き家等の適正管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
190	鳥取市立武道館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○
<b>委員会提出議案</b>								
5	沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○
<b>議員提出議案</b>								
16	マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○
<b>請願</b>								
所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める請願		×	×	×	×	×	×	×
(理由) 家族従業者への給与は専従者給与として認められており、請願趣旨にある「労働の対価を認めていない」								

◆ 全会一致で可決、同意したもの

<b>市長提出議案</b>	
議案番号	案件名
139	平成27年度鳥取市簡易水道事業費特別会計補正予算（第3号）
140	平成27年度鳥取市駐車場事業費特別会計補正予算（第2号）
141	平成27年度鳥取市国民健康保険費特別会計補正予算（第3号）
142	平成27年度鳥取市土地取得費特別会計補正予算（第1号）
143	平成27年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算（第2号）
144	平成27年度鳥取市介護保険費特別会計補正予算（第2号）
145	平成27年度鳥取市財産区管理事業費特別会計補正予算（第1号）
146	平成27年度鳥取市温泉事業費特別会計補正予算（第1号）
147	平成27年度鳥取市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）
148	平成27年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算（第1号）
149	平成27年度鳥取市水道事業会計補正予算（第2号）
150	平成27年度鳥取市下水道等事業会計補正予算（第1号）
151	平成27年度鳥取市病院事業会計補正予算（第1号）
155	鳥取市消防団員等公務災害補償条例及び鳥取市議会の議員等の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
156	鳥取市立児童館条例の一部改正について
157	鳥取市国民健康保険条例の一部改正について
159	鳥取市建築審査会条例の一部改正について
161	鳥取市勤労青少年ホーム条例の一部改正について
162	鳥取市病院事業の設置等に関する条例及び鳥取市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について
163	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
164	鳥取市介護老人保健施設の指定管理者の指定について
165	鳥取市老人福祉センターの指定管理者の指定について
166	鳥取市青谷町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について
167	鳥取市立児童館の指定管理者の指定について
168	鳥取市母子生活支援施設の指定管理者の指定について
169	鳥取市公設地方卸売市場の指定管理者の指定について
170	鳥取市佐治町和紙生産伝習施設の指定管理者の指定について
171	鳥取市あおや和紙工房の指定管理者の指定について
172	鳥取市河原町お城山展望台の指定管理者の指定について
173	鳥取市流しびなの館の指定管理者の指定について
174	鳥取市佐治町自然環境活用センターの指定管理者の指定について
175	鳥取市佐治町たんぼり荘の指定管理者の指定について
176	鳥取市気高町遊漁センターの指定管理者の指定について
177	鳥取市キャンプ場の指定管理者の指定について
178	鳥取市道の駅の指定管理者の指定について
179	鳥取市道の駅の指定管理者の指定について
180	鳥取市鳥取砂丘砂の美術館の指定管理者の指定について
181	鳥取市かちべ伝承館の指定管理者の指定について
182	鳥取市都市公園の指定管理者の指定について
183	鳥取市営駐車場の指定管理者の指定について

## 議員研修会を開催

本市議会では、議員の資質向上と政策立案能力の強化を目的に、研修会の開催及び参加を行っています。

平成27年12月21日には、鳥取労働局雇用均等室長の廣瀬真理氏を講師に迎え、女性の職業生活における活躍の推進について研修を行いました。



研修を受ける様子

## 表紙作品を募集しています

募集テーマが変わります!!

とっとり市議会だよりの表紙をかざる写真・絵手紙・イラスト・まんがを募集しています。平成28年6月1日に発行を予定している議会だよりの表紙は「ととりの祭り」がテーマです。鳥取市で行われる祭りのものならばジャンルを問いません。みなさんの季節感にあふれる作品のご応募をお待ちしています!

テーマ「ととりの祭り」

詳しくは、鳥取市議会ホームページをご覧ください。か、市議会事務局調査係（電話 0857-20-3343）まで。

・ネットで検索!

鳥取市議会 作品募集

検索



・QRコードで簡単アクセス!

## 議会報告会での質疑・ご意見に対する回答について

本市議会では、第2回目となる議会報告会を平成27年10月27日、31日に市内4会場で開催しました。

報告会にご参加いただきました市民のみなさんから、の質疑やご意見に対する回答、アンケート結果等をまとめました。

その内容は市議会ホームページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。

## ようこそ議場へ!

★平成27年10月27日に「鳥取市市民大学後期社会講座」の一環で、受講生14人が議場見学に来られました。市議会のしくみや議会運営等について説明を行いました。

★平成27年11月17日に「第49回鳥取市小学生児童代表話し合いの会」が開催され、各小学校の代表32人が、学校での取り組みについて紹介したのち活発な意見交換が行われました。



小学校児童代表話し合いの会

★平成27年11月20日に大学生に市政への関心を高めてもらうため、鳥取大学の学生を対象に市庁舎見学会が開催され、議場見学に来られました。市議会のしくみや市議会事務局の仕事内容について説明を行いました。

★平成28年1月15日に鳥取県東部地区租税教育推進協議会主催の租税教室で、散岐小学校6年生11人が議場見学に来られ、市議会のしくみについて説明を行いました。



散岐小学校6年生のみなさん

## 議場見学のご案内

議場って  
どんなところ?

本市の将来を担う子どもたちに社会や政治に対する関心を持っていただこうと、市内の小中学生を対象に議場見学会（議場見学や議会のしくみについての説明など）を受け付けております。

詳しくは、市議会事務局調査係までお問い合わせください。（電話0857-20-3343）

## 2 月定例会のお知らせ

### 新しい特別委員会を設置

平成28年第1回臨時会において、次のとおり議会基本条例策定特別委員会が設置されました。

議会基本条例策定特別委員会(9人)

◎委員長 ○副委員長

◎石田憲太郎	平野真理子
○金谷洋治	砂田典男
勝田鮮二	長坂則翁
星見健蔵	角谷敏男
魚崎勇	

(委員は議席順)

2月22日(月)	開会 提案説明 予算審査特別委員会 一般質問
2月24日(水)	一般質問
2月25日(木)	一般質問 先議質疑 先議委員会付託
2月26日(金)	委員会 予算審査分科会
2月29日(月)	委員会 予算審査分科会
3月1日(火)	委員会 予算審査分科会
3月2日(水)	委員会 予算審査分科会
3月3日(木)	委員会 予算審査分科会
3月4日(金)	先議採決等 一般質問
3月7日(月)	一般質問
3月8日(火)	一般質問
3月9日(水)	予算審査特別委員会付託
3月10日(木)	委員会 予算審査分科会
3月11日(金)	委員会 予算審査分科会
3月14日(月)	委員会 予算審査分科会
3月15日(火)	委員会 予算審査分科会
3月16日(水)	委員会 予算審査分科会
3月17日(木)	委員会 予算審査分科会
3月18日(金)	予算審査特別委員会
3月22日(月)	予算審査特別委員会
3月23日(火)	委員長報告・討論・採決・閉会

※本会議は、いよいよ「よんぴんネット」で実施いたします。  
※この日程は変更になる場合もあります。